

ナビちゃんのつぶやき (インデックス)

「はじめてみよう! インデックス」の補足です。
ナビちゃんがつぶやいています。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



目次

ナビちゃんをつぶやき (インデックス)

基本

- 01 「常駐して武蔵の起動を高速化する」について _____ 2
- 02 TOMファイルについて _____ 3
- 03 各メーカーの積算データの取り込み方法 _____ 4

その他

- 04 入力専用ライセンスの制限事項・解除方法 42

基 本



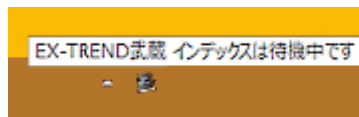
はじめてみよう!インデックスの
基本の補足を確認しましょう。

1 新規工事作成(01～03)



01 「常駐して武蔵の起動を高速化する」について

EX-TREND武蔵 インデックスは起動時間・操作性を上げるため、タスクバーに常駐化するようにしています。インデックスを閉じると、タスクバーにアイコンが表示されます。アイコンをクリックするとインデックスを起動できます。



常駐させない場合は、タスクトレイの「EX-TREND武蔵 アクセラレーター」を右クリックして、[設定]－[常駐しない]をクリックします。





02

TOMファイルについて

TOMファイル(積算ソフト TO Musashiの略称)は、積算ソフトからEX-TREND武蔵にデータを取り込むために、共通化したフォーマットで定義したファイルです。

TOMファイルでは、積算ソフト間の差を意識することなく、統一した仕様で工種などの名称・数量、機労材の数量を取り込むことができます。

積算ソフト

＜工事概要＞

- ・工事名称(必須)
- ・発注年度、工事番号、工事箇所、河川路線名、工事開始日～終了日、請負金額、工事内容、請負者名、現場代理人、主任技術者、監理技術者、発注者、監督官(任意)

＜積算内訳＞

- ・工事区分/工種/種別/細別・・・名、規格寸法、数量・単位、金額、日当たり施工量
- ・資機材、規格寸法、数量・単位、金額、費目、当たり数量(代価表・単位表の場合)

機労材数量は、積算から代価(当たり数量)で出力された場合は
「資機材数量」(総括数量として取り込む)
＝代価数量/当たり数量×工種数量
で算出します。

積算ソフト(例)

○工種(1) 555m³
 ↳代価表 100m³当たり
 ・バックホ 0.35日
 ・運転手 0.40人
 ・軽油 222 L

単位当たり数量から延べ数量に再計算して

武蔵への取り込み時(例)

○工種(1) 555m³
 ・バックホ 0.35日/100m³×555.5m³ = 1.94425日
 ・運転手 0.40人/100m³×555.5m³ = 2.222日
 ・軽油 222 L/100m³×555.5m³ = 1233.21L

【インデックス】

＜工事概要＞

- ・工事名称(必須)

＜工事内容＞

- ・工種/種別/細別/規格(4階層まで)
数量・単位・金額
日当たり施工量
- ・資機材、規格寸法、数量・単位・金額

積算データを取り込むと、「事業区分」「工事区分」がツリー上位に表示される場合があります。EX-TREND武蔵では原則、工種(レベル2)以下を利用して施工処理を行いますので、「事業区分」「工事区分」は右ボタンを押して表示される「選択分類を削除」で削除して階層を上げてから取り込むことをお勧めします。

積算データ取り込み

確認と調整
指定した積算データを、以下の構成で取り込みます。
構成の確認と調整を行い、「取り込み」ボタンを押してください。

分類名の変更	削除+繰り上げ	4階層まで移動	全階層を表示	4階層まで表示	重複分類を表示	重複自動解除	
分類名称	規格・寸法	数量	単位	単価	金額	日当たり施工量	当たり
工 準備工		1	式	511,000	511,000		
種 現地踏査・現地測量	巾20m	200	m	2,555	511,000	40	
工 道路土工		1	式	10,391,000	10,391,000		
種 掘削工	機械掘削	2,000	m ³	1,691.5	3,383,000	200	
種 路床盛土		2,000	m ³	1,726	3,452,000	200	
種 路床盛土		2,000	m ³	1,778	3,556,000	200	
工 排水構造物工		1	式	4,732,600	4,732,600		
種 排水工	路(散左右)	1	式	4,732,600	4,732,600		
種 自由な配管	300×400～500	400	m	10,763	4,305,000	20	

資機材

すべて ☒ グループ化

名称	規格・寸法	単位	単価	要素
現地踏査・現地測量				
普通作業員		人	14,900	労務費
測量士		人	18,000	労務費
製図工		人	9,000	労務費
掘削工				
普通作業員		人	14,900	労務費

<戻る 次へ> **取り込み** キャンセル



03

各メーカーの積算データの取り込み方法

[積算データ取り込み]ダイアログの各メーカーのタブで、各メーカーの積算データを取り込むことができます。



以下のメーカーの積算データとの連携について解説します。

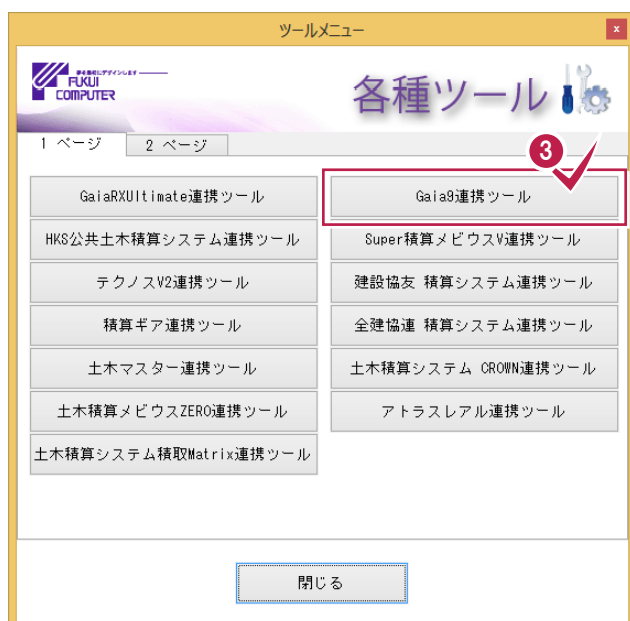
- ①「Gaia9」との連携について
(「GaiaRX Ultimate」も同様です。)
- ②「土木積算メビウスZERO」との連携について
(「Super積算メビウスV」も同様です。)
- ③「全建協連 積算システム」との連携について
(「建設協友 積算システム」「土木積算システム CROWN」も同様です。)
- ④「テクノスV2」との連携について
- ⑤「土木マスター」との連携について
- ⑥「積算ギア」との連携について
- ⑦「HKS公共土木積算システム」との連携について
- ⑧「ATLUS REAL」との連携について
- ⑨「積取Matrix」との連携について

①「Gaia9」との連携について

「Gaia9」と連携するには、あらかじめ「Gaia9連携セットアップ」プログラム(インストールDVD)で環境設定を行っておく必要があります。

環境設定

※環境設定を行うには、「管理者権限」が必要です。



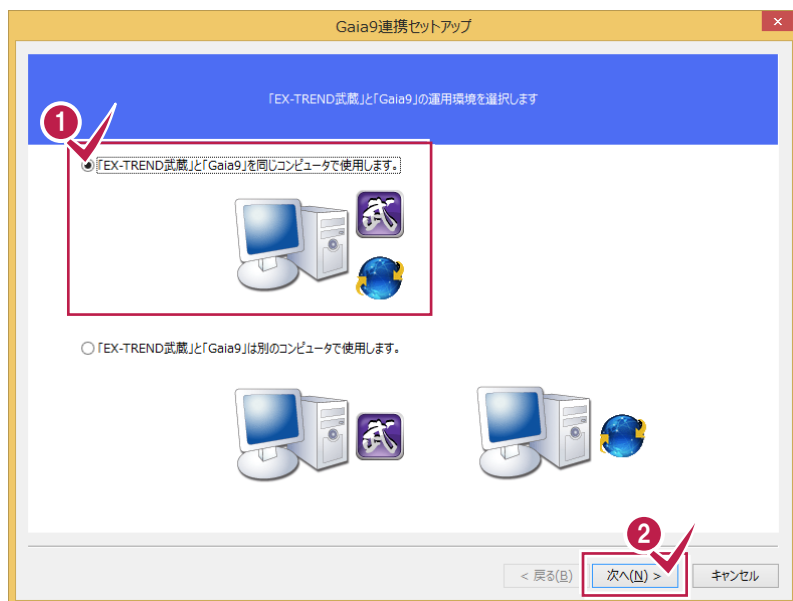
1 インストールDVDで[個別インストール+その他]タブをクリックします。

2 [積算連携ツール]をクリックします。

3 [Gaia9連携ツール]をクリックします。

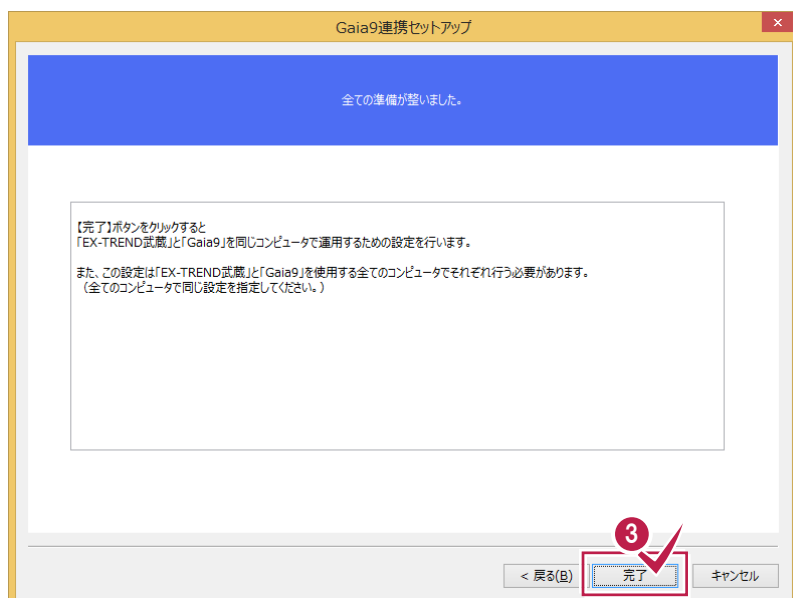
「EX-TREND武蔵」と「Gaia9」を同じコンピュータで使用する場合と、「EX-TREND武蔵」と「Gaia9」を別のコンピュータで使用する場合は操作が異なります。

【「EX-TREND武蔵」と「Gaia9」を同じコンピュータで使用する場合】



1 「「EX-TREND武蔵」と「Gaia9」を同じコンピュータで使します。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。

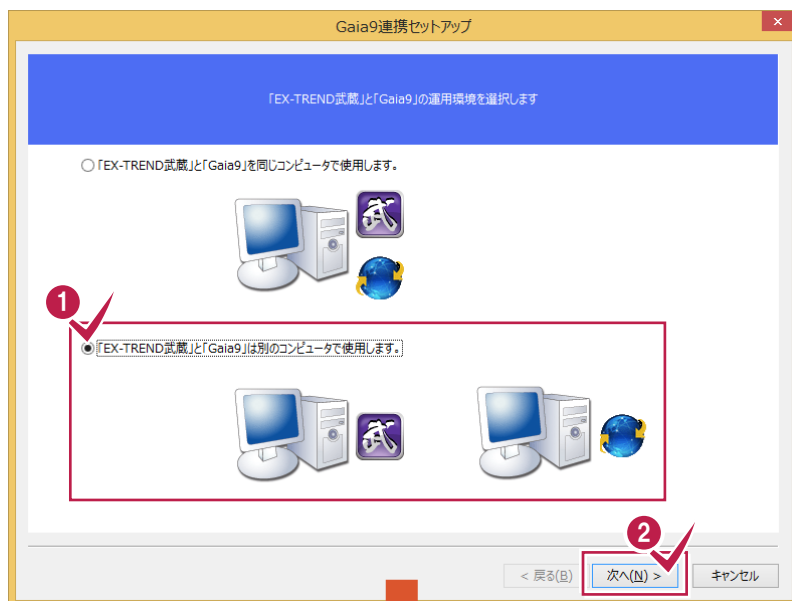


3 「完了」をクリックします。

【「EX-TREND武蔵」と「Gaia9」を別のコンピュータで使用する場合】

注意

この操作は、「EX-TREND 武蔵」または「Gaia9」がインストールされているコンピュータの両方で行い、同じ共有フォルダーを指定してください。



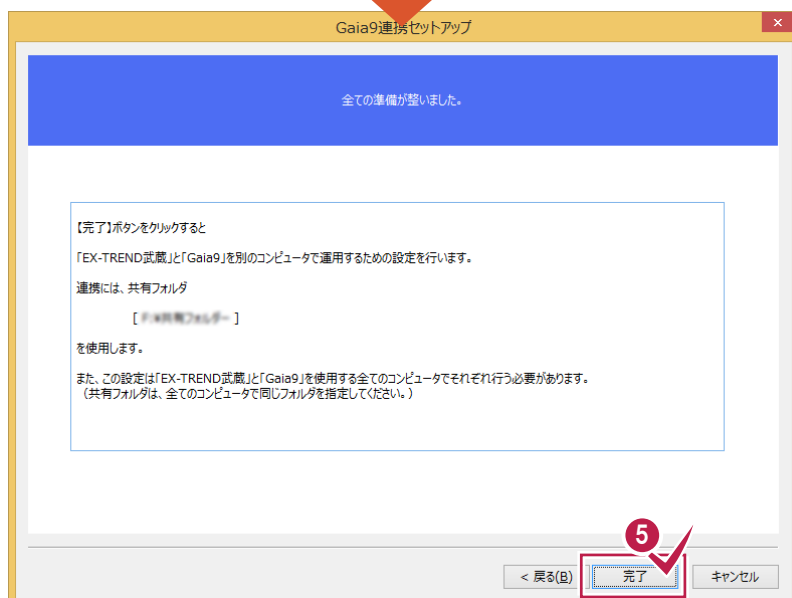
1 「「EX-TREND武蔵」と「Gaia9」を別のコンピュータで使します。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



3 データの受け渡し場所を使用するフォルダーを入力します。

4 「次へ」をクリックします。



5 「完了」をクリックします。

操作の詳細については「Gaia9」の解説を参照してください。ここではコマンドの位置のみ解説します。



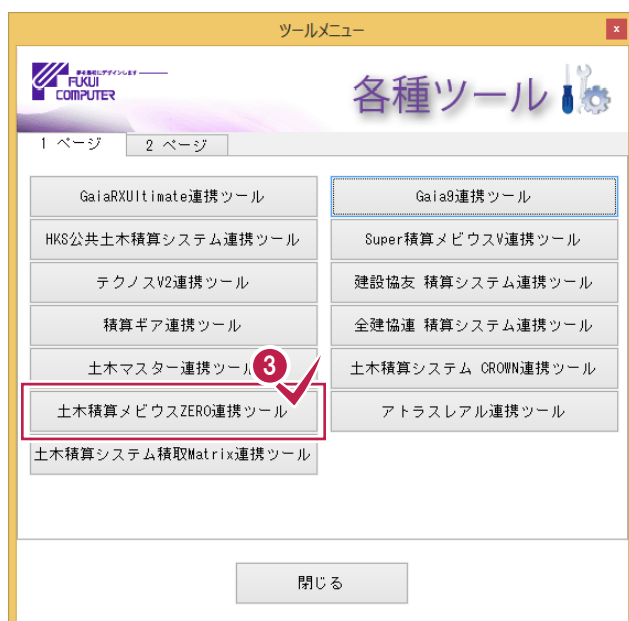
- 4 [武蔵]のアイコンをクリックします。

②「土木積算メビウスZERO」との連携について

「土木積算メビウスZERO」と連携するには、あらかじめ「土木積算メビウスZERO 連携セットアップ」プログラム（インストールDVD）で環境設定を行っておく必要があります。

環境設定

※環境設定を行うには、「管理者権限」が必要です。



1 インストールDVDで[個別インストール+その他]タブをクリックします。

2 [積算連携ツール]をクリックします。

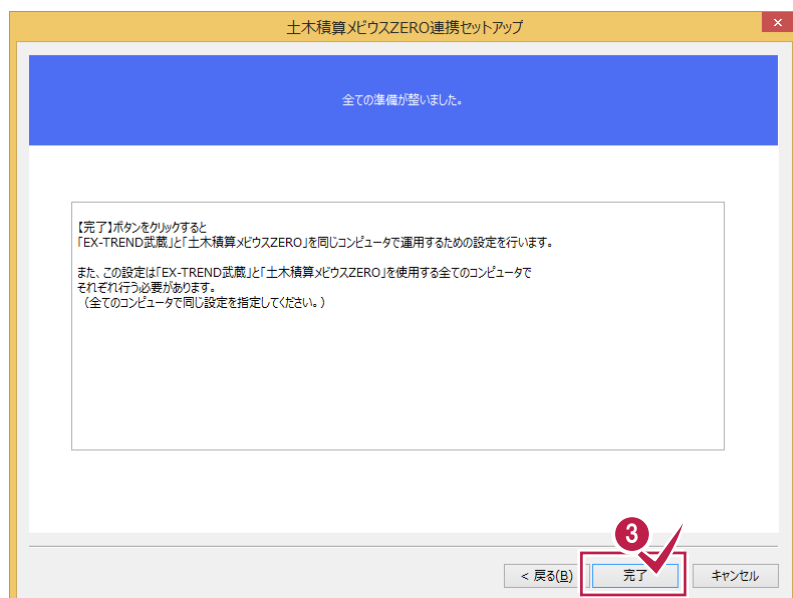
3 [土木積算メビウスZERO連携ツール]をクリックします。

「EX-TREND武蔵」と「土木積算メビウスZERO」を同じコンピュータで使用する場合と、「EX-TREND武蔵」と「土木積算メビウスZERO」を別のコンピュータで使用する場合は操作が異なります。

【「EX-TREND武蔵」と「土木積算メビウスZERO」を同じコンピュータで使用する場合】



- 1 「「EX-TREND武蔵」と「土木積算メビウスZERO」を同じコンピュータで使します。」をクリックします。
- 2 「次へ」をクリックします。

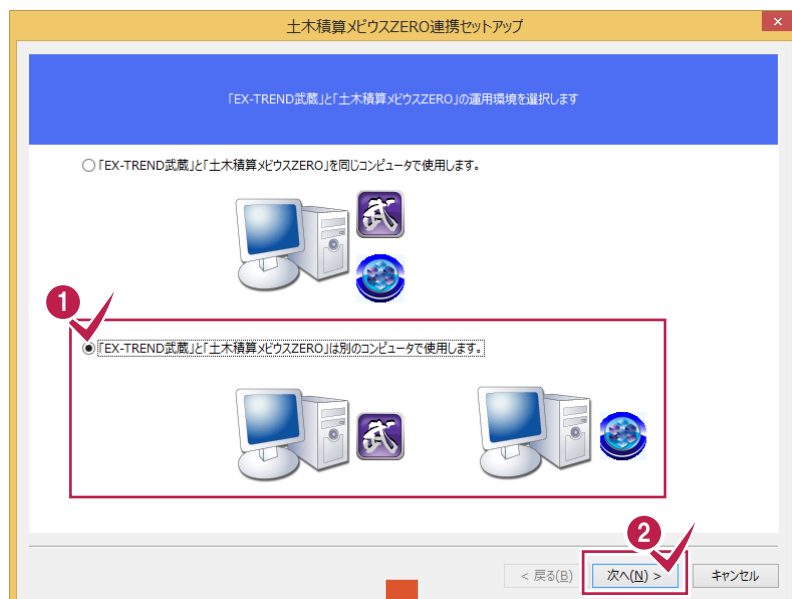


- 3 「完了」をクリックします。

【「EX-TREND武蔵」と「土木積算メビウスZERO」を別のコンピュータで使用する場合】

注意

この操作は、「EX-TREND 武蔵」または「土木積算メビウス ZERO」がインストールされているコンピュータの両方で行い、同じ共有フォルダーを指定してください。



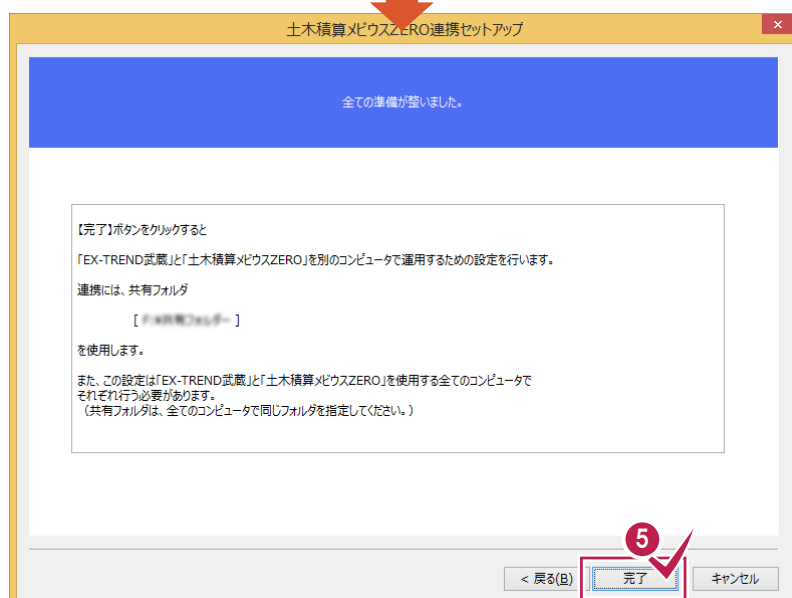
1 「「EX-TREND武蔵」と「土木積算メビウスZERO」を別のコンピュータで使します。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



3 データの受け渡し場所で使用するフォルダーを入力します。

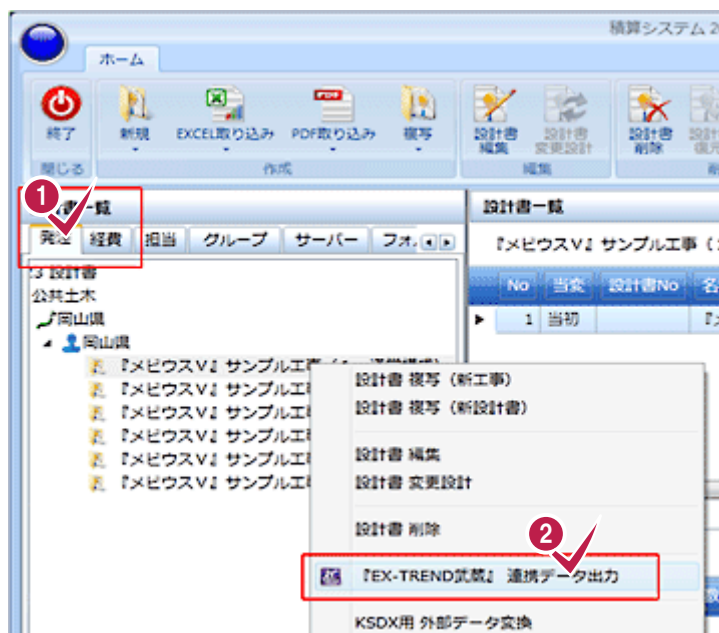
4 「次へ」をクリックします。



5 「完了」をクリックします。

「土木積算メビウスZERO」で「EX-TREND武蔵」用のデータを出力する

「土木積算メビウスZERO」で「EX-TREND武蔵」用のTOMファイル(*.tom)を出力します。操作の詳細については「土木積算メビウスZERO」の解説を参照してください。ここではコマンドの位置のみ解説します。



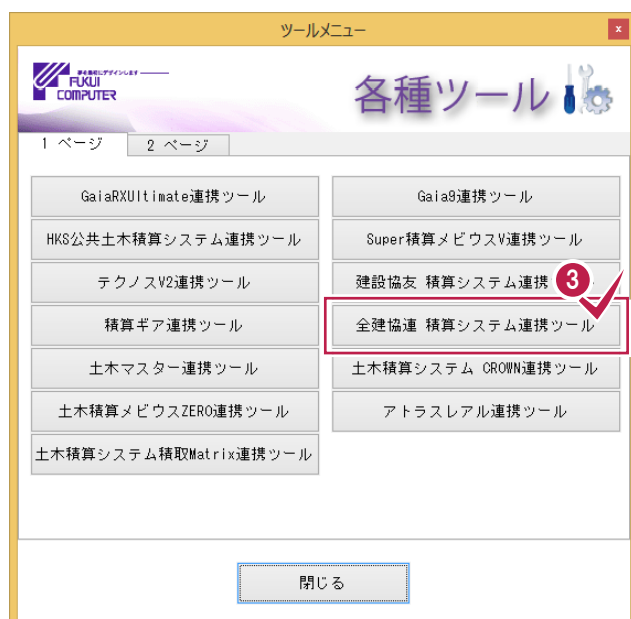
- 1 「土木積算メビウスZERO」の積算システムを起動します。
- 2 ポップアップメニューの「EX-TREND武蔵連携データ出力」をクリックします。

③「全建協連 積算システム」との連携について

「全建協連 積算システム」と連携するには、あらかじめ「全建協連 積算システム連携セットアップ」プログラム（インストールDVD）で環境設定を行っておく必要があります。

環境設定

※環境設定を行うには、「管理者権限」が必要です。



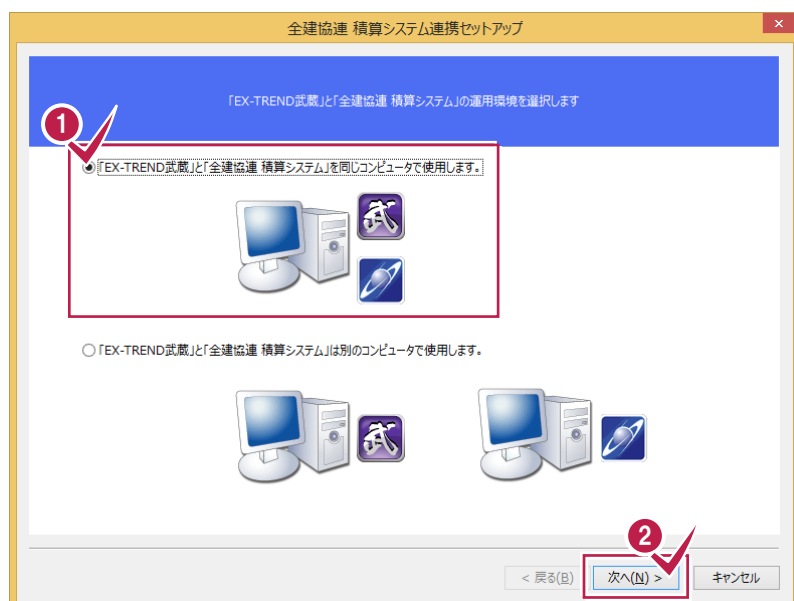
1 インストールDVDで[個別インストール+その他]タブをクリックします。

2 [積算連携ツール]をクリックします。

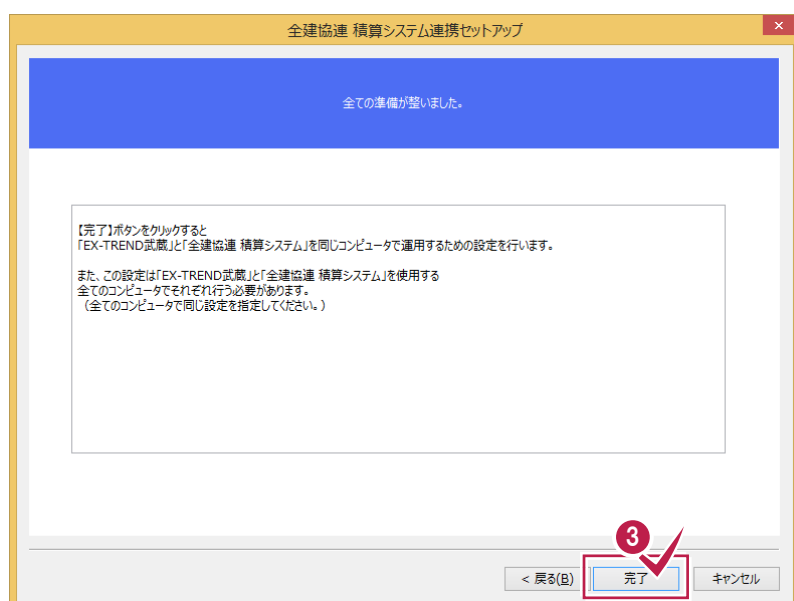
3 [全建協連 積算システム連携ツール]をクリックします。

「EX-TREND武蔵」と「全建協連 積算システム」を同じコンピュータで使用する場合と、「EX-TREND武蔵」と「全建協連 積算システム」を別のコンピュータで使用する場合は操作が異なります。

【「EX-TREND武蔵」と「全建協連 積算システム」を同じコンピュータで使用する場合】



- 1 「「EX-TREND武蔵」と「全建協連 積算システム」を同じコンピュータで使します。」をクリックします。
- 2 「次へ」をクリックします。

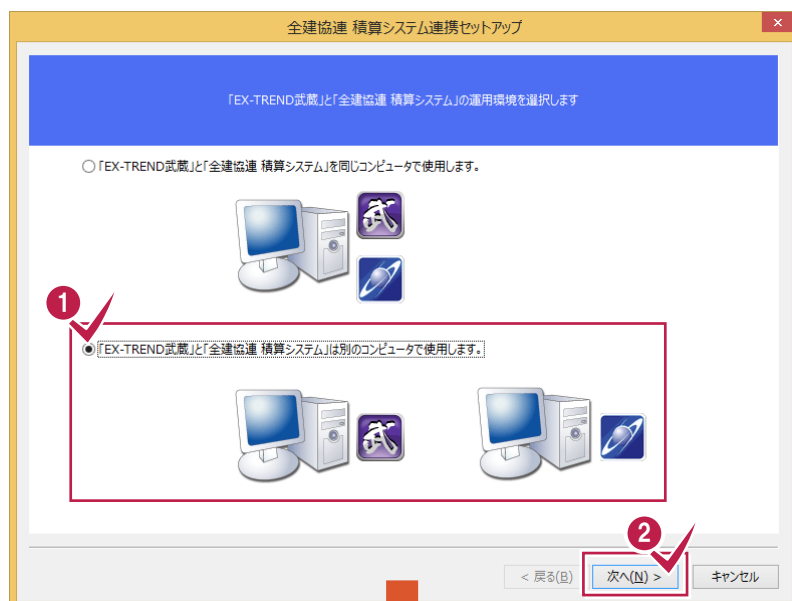


- 3 「完了」をクリックします。

【「EX-TREND武蔵」と「全建協連 積算システム」を別のコンピュータで使用する場合】

注意

この操作は、「EX-TREND 武蔵」または「全建協連 積算システム」がインストールされているコンピュータの両方で行い、同じ共有フォルダーを指定してください。



- 1 「「EX-TREND武蔵」と「全建協連 積算システム」を別のコンピュータで使用します。」をクリックします。
- 2 「次へ」をクリックします。



- 3 データの受け渡し場所を使用するフォルダーを入力します。
- 4 「次へ」をクリックします。



- 5 「完了」をクリックします。

「全建協連 積算システム」で「EX-TREND武蔵」用のデータを出力する

「全建協連 積算システム」で「EX-TREND武蔵」用のTXTファイル(*.txt)を出力します。
操作の詳細については「全建協連 積算システム」の解説を参照してください。
ここではコマンドの位置のみ解説します。



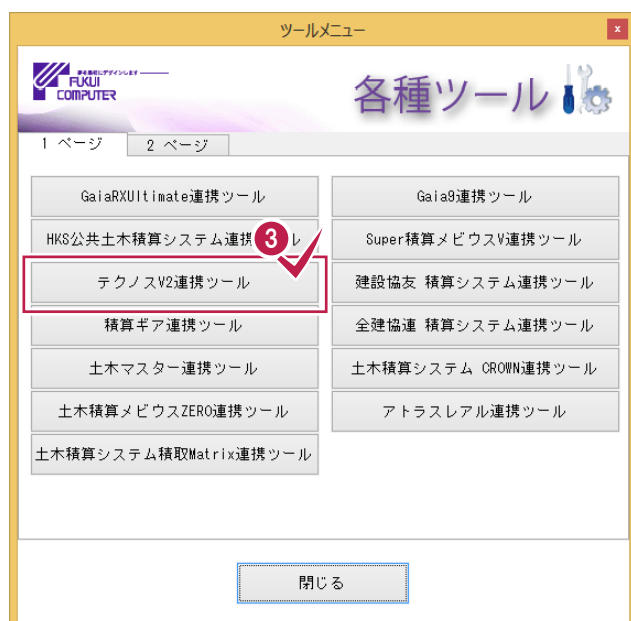
- 1 「全建協連 積算システム」で、ツールバーの[積算書]をクリックします。
- 2 [EX-TREND武蔵 連携データ出力]をクリックします。

④「テクノスV2」との連携について

「テクノスV2」と連携するには、あらかじめ「テクノスV2連携セットアップ」プログラム(インストールDVD)で環境設定を行っておく必要があります。

環境設定

※環境設定を行うには、「管理者権限」が必要です。



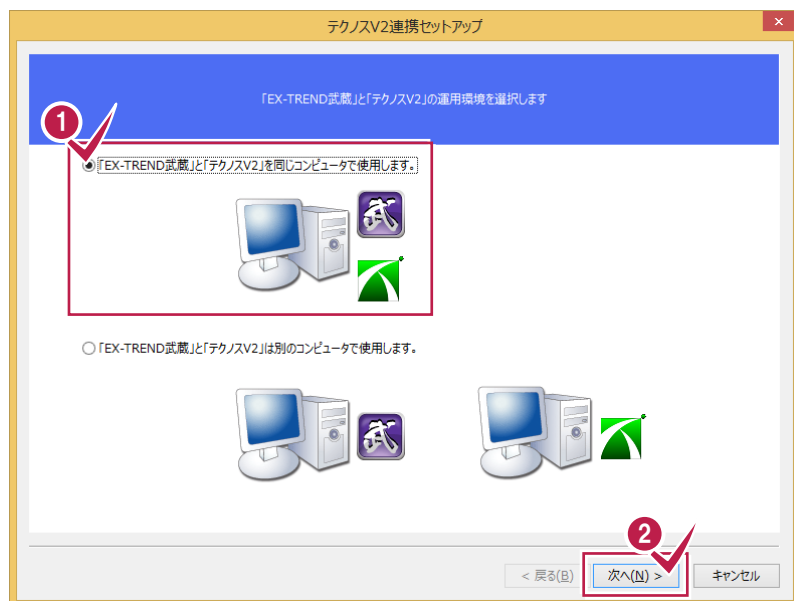
1 インストールDVDで[個別インストール+その他]タブをクリックします。

2 [積算連携ツール]をクリックします。

3 [テクノスV2連携ツール]をクリックします。

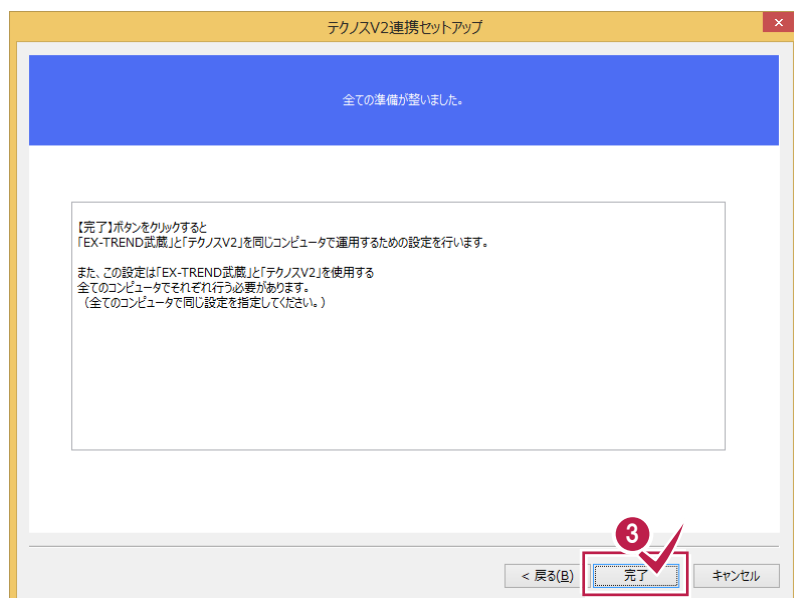
「EX-TREND武蔵」と「テクノスV2」を同じコンピュータで使用する場合と、「EX-TREND武蔵」と「テクノスV2」を別のコンピュータで使用する場合は操作が異なります。

【「EX-TREND武蔵」と「テクノスV2」を同じコンピュータで使用する場合】



1 「「EX-TREND武蔵」と「テクノスV2」を同じコンピュータで使します。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。

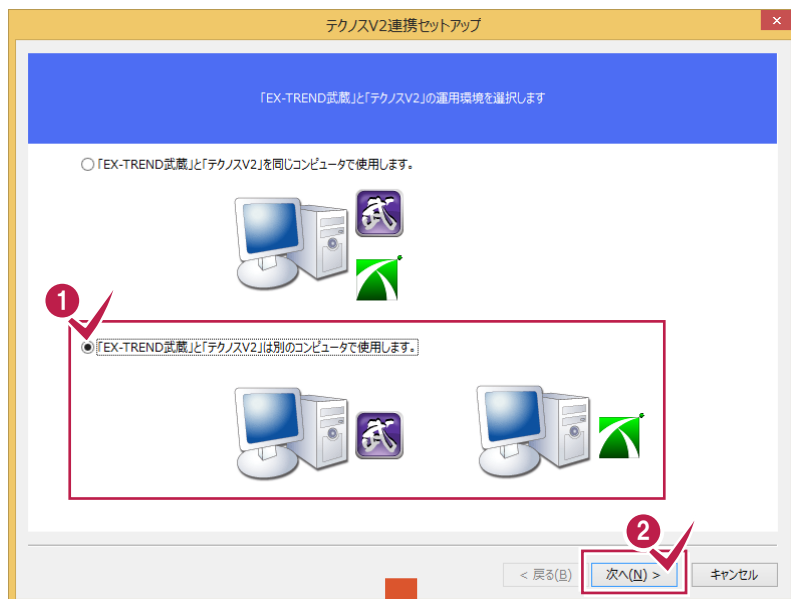


3 「完了」をクリックします。

【「EX-TREND武蔵」と「テクノスV2」を別のコンピュータで使用する場合】

注意

この操作は、「EX-TREND 武蔵」または「テクノス V2」がインストールされているコンピュータの両方で行い、同じ共有フォルダーを指定してください。



1 「「EX-TREND武蔵」と「テクノスV2」を別のコンピュータで使用します。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



3 データの受け渡し場所を使用するフォルダーを入力します。

4 「次へ」をクリックします。

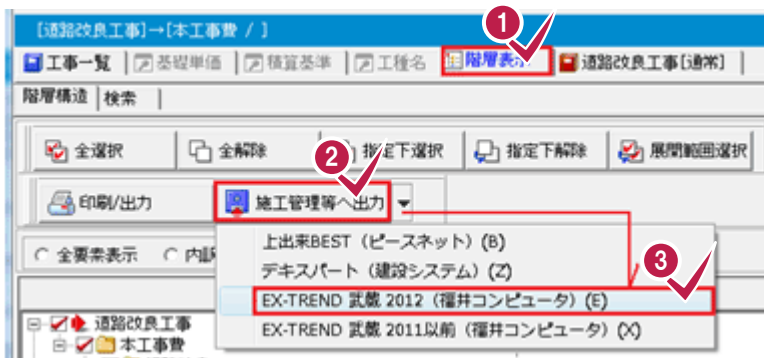


5 「完了」をクリックします。

「テクノスV2」で「EX-TREND武蔵」用のデータを出力する

「テクノスV2」で「EX-TREND武蔵」用のTOMファイル(*.tom)を出力します。

操作の詳細については「テクノスV2」の解説を参照してください。ここではコマンドの位置のみ解説します。



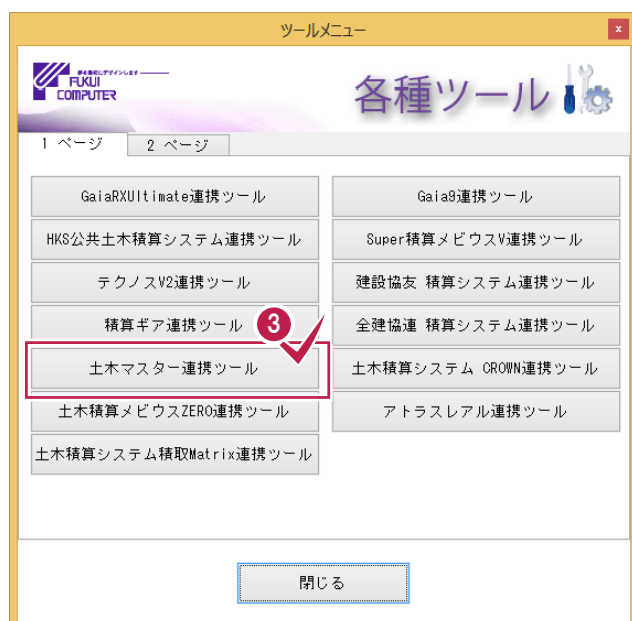
- 1 「テクノスV2」で、[階層表示]タブをクリックします。
- 2 [施工管理などへ出力]をクリックします。
- 3 [EX-TREND 武蔵 (福井コンピュータ)]をクリックします。

⑤「土木マスター」との連携について

「土木マスター」と連携するには、あらかじめ「土木マスター連携セットアップ」プログラム(インストールDVD)で環境設定を行っておく必要があります。

環境設定

※環境設定を行うには、「管理者権限」が必要です。



1 インストールDVDで[個別インストール+その他]タブをクリックします。

2 [積算連携ツール]をクリックします。

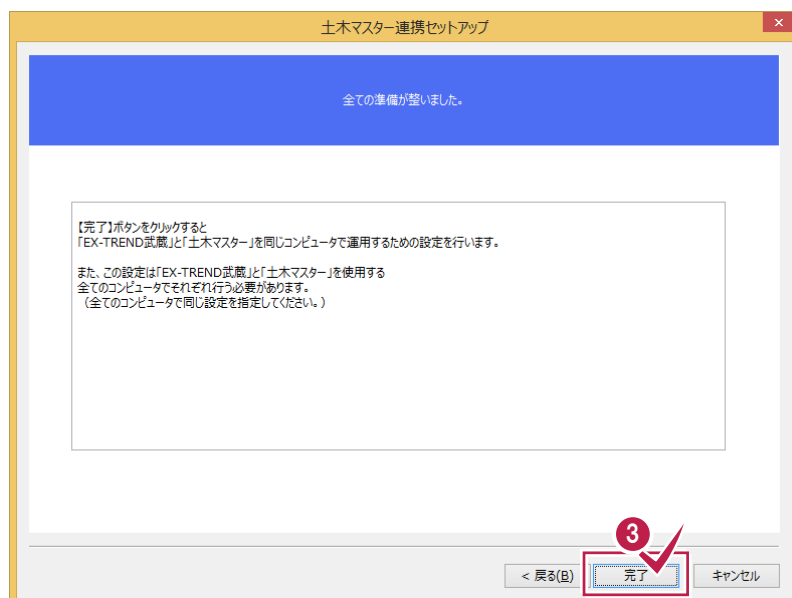
3 [土木マスター連携ツール]をクリックします。

「EX-TREND武蔵」と「土木マスター」を同じコンピュータで使用する場合と、「EX-TREND武蔵」と「土木マスター」を別のコンピュータで使用する場合は操作が異なります。

【「EX-TREND武蔵」と「土木マスター」を同じコンピュータで使用する場合】



- 1 「「EX-TREND武蔵」と「土木マスター」を同じコンピュータで使します。」をクリックします。
- 2 「次へ」をクリックします。



- 3 「完了」をクリックします。

【「EX-TREND武蔵」と「土木マスター」を別のコンピュータで使用する場合】

注意

この操作は、「EX-TREND 武蔵」または「土木マスター」がインストールされているコンピュータの両方で行い、同じ共有フォルダーを指定してください。



1 「「EX-TREND武蔵」と「土木マスター」を別のコンピュータで使用します。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



3 データの受け渡し場所を使用するフォルダーを入力します。

4 「次へ」をクリックします。

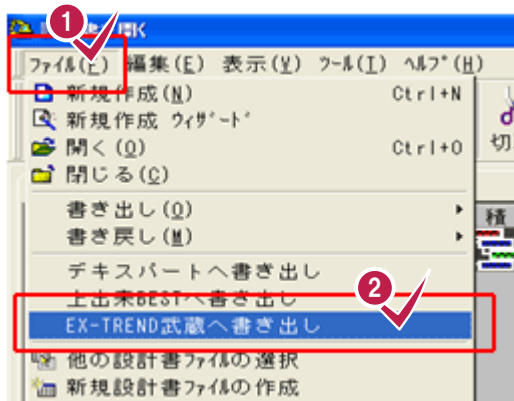


5 「完了」をクリックします。

「土木マスター」で「EX-TREND武蔵」用のデータを出力する

「土木マスター」で「EX-TREND武蔵」用のTOMファイル(*.tom)を出力します。

操作の詳細については「土木マスター」の解説を参照してください。ここではコマンドの位置のみ解説します。



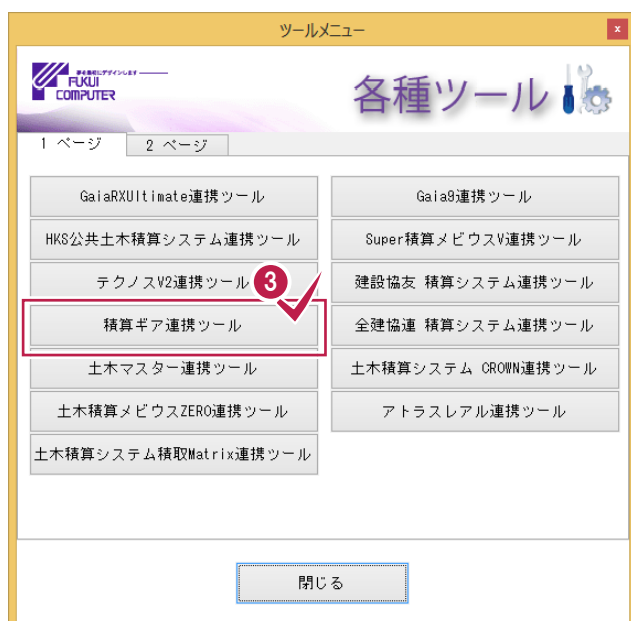
- 1 「土木マスター」で、[ファイル]をクリックします。
- 2 [EX-TREND武蔵へ書き出し]をクリックします。

⑥「積算ギア」との連携について

「積算ギア」と連携するには、あらかじめ「積算ギア連携セットアップ」プログラム(インストールDVD)で環境設定を行っておく必要があります。

環境設定

※環境設定を行うには、「管理者権限」が必要です。



1 インストールDVDで[個別インストール+その他]タブをクリックします。

2 [積算連携ツール]をクリックします。

3 [積算ギア連携ツール]をクリックします。

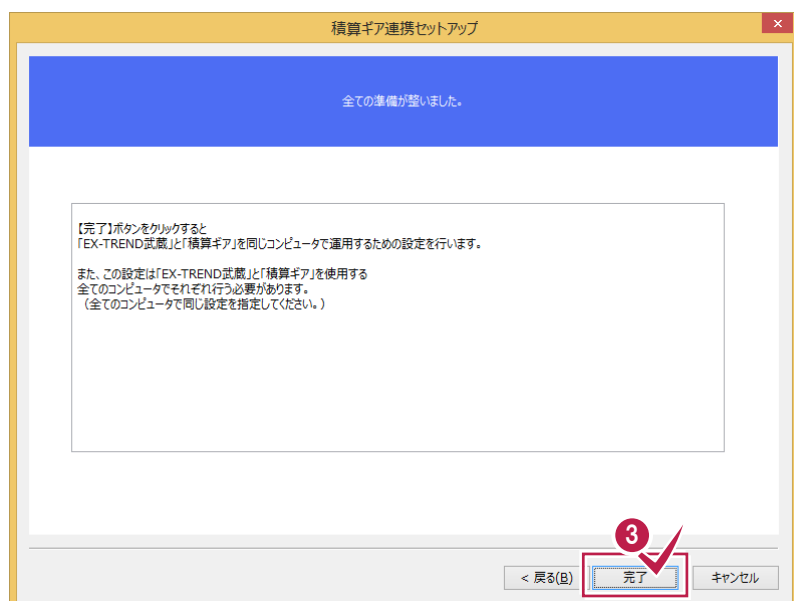
「EX-TREND武蔵」と「積算ギア」を同じコンピュータで使用する場合と、「EX-TREND武蔵」と「積算ギア」を別のコンピュータで使用する場合は操作が異なります。

【「EX-TREND武蔵」と「積算ギア」を同じコンピュータで使用する場合】



1 「「EX-TREND武蔵」と「積算ギア」を同じコンピュータで使します。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



3 「完了」をクリックします。

【「EX-TREND武蔵」と「積算ギア」を別のコンピュータで使用する場合】

注意

この操作は、「EX-TREND 武蔵」または「積算ギア」がインストールされているコンピュータの両方で行い、同じ共有フォルダーを指定してください。



1 「「EX-TREND武蔵」と「積算ギア」を別のコンピュータで使います。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



3 データの受け渡し場所で使用するフォルダーを入力します。

4 「次へ」をクリックします。



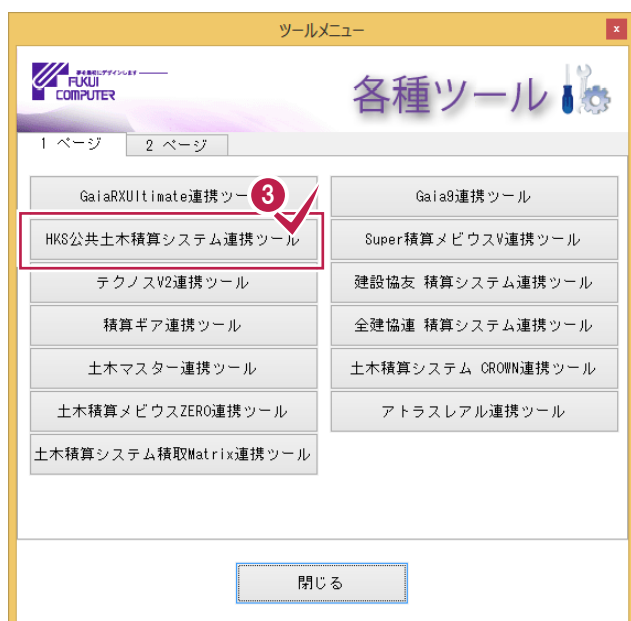
5 「完了」をクリックします。

⑦「HKS公共土木積算システム」との連携について

「HKS公共土木積算システム」と連携するには、あらかじめ「HKS公共土木積算システム連携セットアップ」プログラム（インストールDVD）で環境設定を行っておく必要があります。

環境設定

※環境設定を行うには、「管理者権限」が必要です。



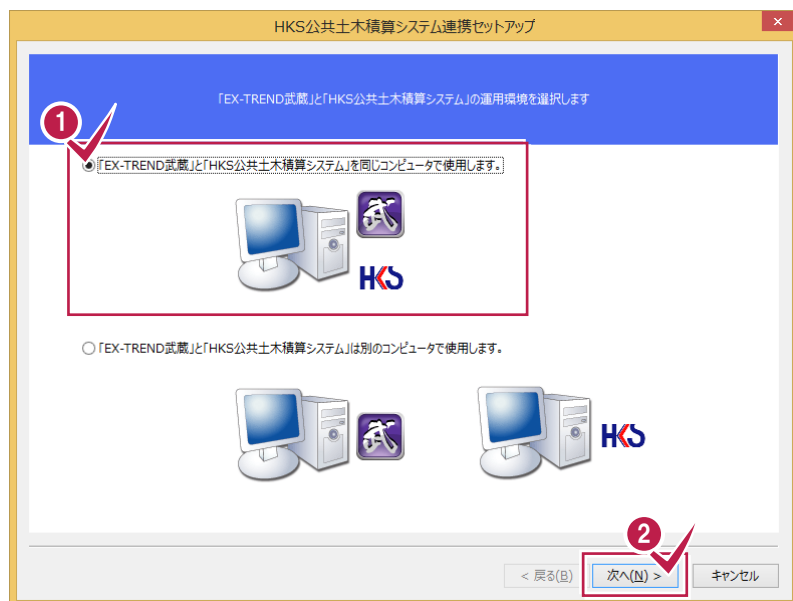
1 インストールDVDで[個別インストール+その他]タブをクリックします。

2 [積算連携ツール]をクリックします。

3 [HKS公共土木積算システム連携ツール]をクリックします。

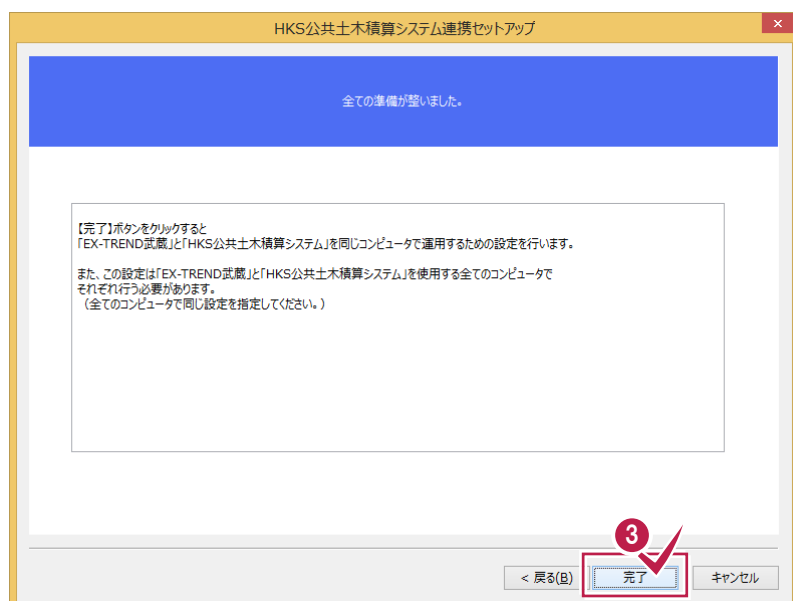
「EX-TREND武蔵」と「HKS公共土木積算システム」を同じコンピュータで使用する場合は、「EX-TREND武蔵」と「HKS公共土木積算システム」を別のコンピュータで使用する場合は操作が異なります。

【「EX-TREND武蔵」と「HKS公共土木積算システム」を同じコンピュータで使用する場合】



1 「「EX-TREND武蔵」と「HKS公共土木積算システム」を同じコンピュータで使います。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。

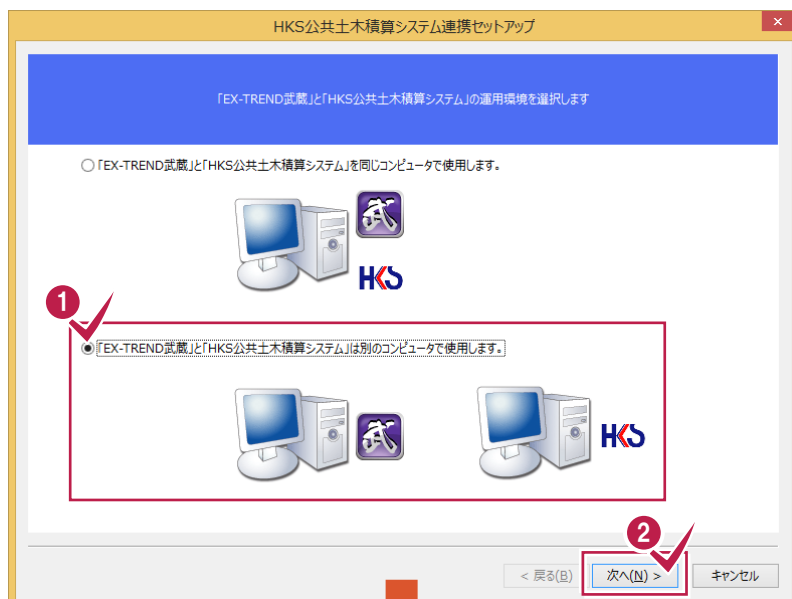


3 「完了」をクリックします。

【「EX-TREND武蔵」と「HKS公共土木積算システム」を別のコンピュータで使用する場合】

注意

この操作は、「EX-TREND 武蔵」または「HKS 公共土木積算システム」がインストールされているコンピュータの両方で行い、同じ共有フォルダーを指定してください。



1 「「EX-TREND武蔵」と「HKS公共土木積算システム」を別のコンピュータで使います。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



3 データの受け渡し場所で使用するフォルダーを入力します。

4 「次へ」をクリックします。



5 「完了」をクリックします。

「HKS公共土木積算システム」で「EX-TREND武蔵」用のデータを出力

「HKS公共土木積算システム」で「EX-TREND武蔵」用のTOMファイル(*.tom)を出力します。
操作の詳細については「HKS公共土木積算システム」の解説を参照してください。
ここではコマンドの位置のみ解説します。



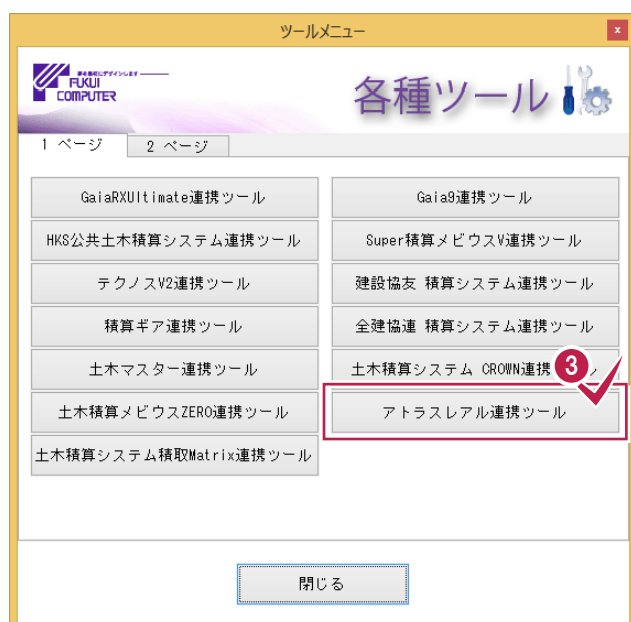
- 1 「HKS公共土木積算システム」で
[実行予算]シートの[EX-TREND
武蔵 連携用ファイル出力]をクリック
します。

⑧「ATLUS REAL」との連携について

「ATLUS REAL」と連携するには、あらかじめ「ATLUS REAL連携セットアップ」プログラム（インストールDVD）で環境設定を行っておく必要があります。

環境設定

※環境設定を行うには、「管理者権限」が必要です。



1 インストールDVDで[個別インストール+その他]タブをクリックします。

2 [積算連携ツール]をクリックします。

3 [アトラスリアル連携ツール]をクリックします。

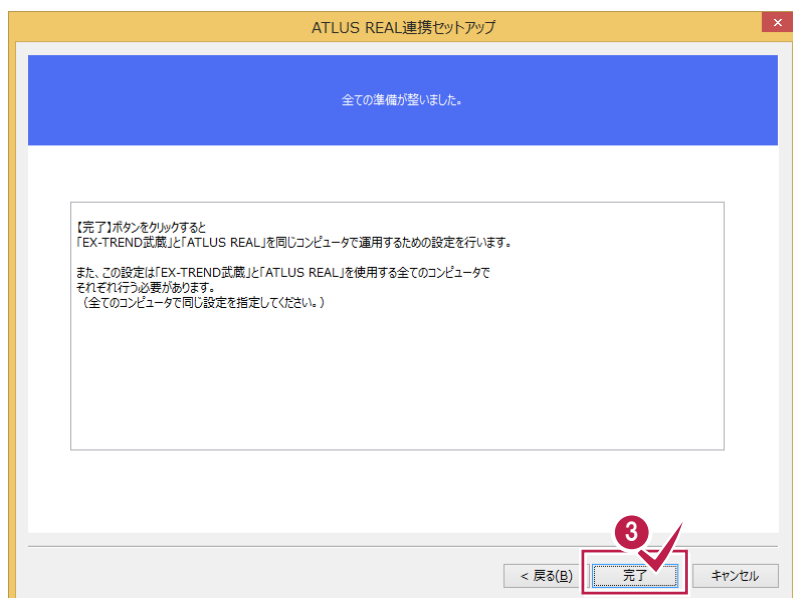
「EX-TREND武蔵」と「ATLUS REAL」を同じコンピュータで使用する場合と、「EX-TREND武蔵」と「ATLUS REAL」を別のコンピュータで使用する場合は操作が異なります。

【「EX-TREND武蔵」と「ATLUS REAL」を同じコンピュータで使用する場合】



1 「「EX-TREND 武蔵」と「ATLUS REAL」を同じコンピュータで使用します。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。

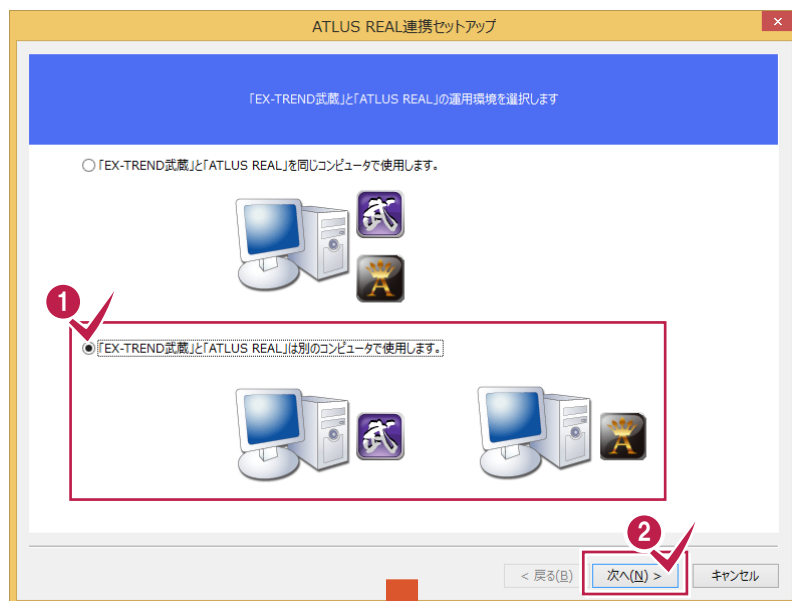


3 「完了」をクリックします。

【「EX-TREND武蔵」と「ATLUS REAL」を別のコンピュータで使用する場合】

注意

この操作は、「EX-TREND 武蔵」または「ATLUS REAL」がインストールされているコンピュータの両方で
行い、同じ共有フォルダーを指定してください。



- 1 「「EX-TREND 武蔵」と「ATLUS REAL」を別のコンピュータで使用します。」をクリックします。
- 2 「次へ」をクリックします。



- 3 データの受け渡し場所で使用するフォルダーを入力します。
- 4 「次へ」をクリックします。



- 5 「完了」をクリックします。

「ATLUS REAL」で「EX-TREND武蔵」用のデータを入力する

「ATLUS REAL」で「EX-TREND武蔵」用のTOMファイル(*.tom)を出力します。

操作の詳細については「ATLUS REAL」の解説を参照してください。ここではコマンドの位置のみ解説します。



- 1 「ATLUS REAL」の工事一覧で設計書を選択して、リボン[外部出力]の[TOM出力]をクリックします。



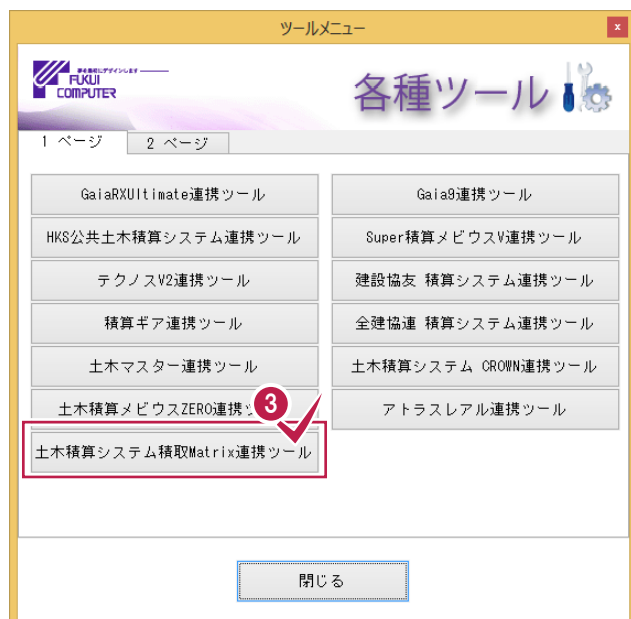
- 1 設計書を開き、リボン[印刷・出力]の[TOM出力]をクリックします。

⑨「積取Matrix」との連携について

「積取Matrix」と連携するには、あらかじめ「土木積算システム積取Matrix連携セットアップ」プログラム（インストールDVD）で環境設定を行っておく必要があります。

環境設定

※環境設定を行うには、「管理者権限」が必要です。



1 インストールDVDで[個別インストール+その他]タブをクリックします。

2 [積算連携ツール]をクリックします。

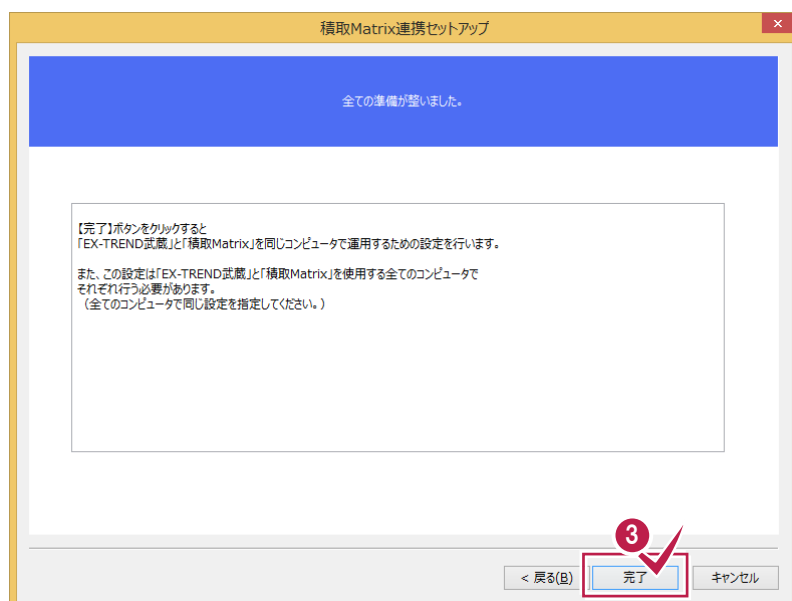
3 [土木積算システム積取Matrix連携ツール]をクリックします。

「EX-TREND武蔵」と「積取Matrix」を同じコンピュータで使用する場合と、「EX-TREND武蔵」と「積取Matrix」を別のコンピュータで使用する場合は操作が異なります。

【「EX-TREND武蔵」と「積取Matrix」を同じコンピュータで使用する場合】



- 1 「「EX-TREND武蔵」と「積取Matrix」を同じコンピュータで使します。」をクリックします。
- 2 「次へ」をクリックします。



- 3 「完了」をクリックします。

【「EX-TREND武蔵」と「積取Matrix」を別のコンピュータで使用する場合】

注意

この操作は、「EX-TREND 武蔵」または「積取 Matrix」がインストールされているコンピュータの両方で
行い、同じ共有フォルダーを指定してください。



1 「「EX-TREND武蔵」と「積取 Matrix」を別のコンピュータで使
用します。」をクリックします。

2 「次へ」をクリックします。



3 データの受け渡し場所で使用する
フォルダーを入力します。

4 「次へ」をクリックします。

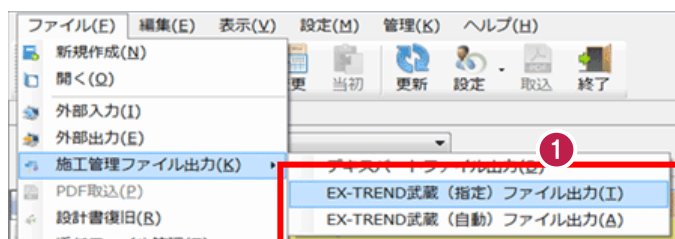


5 「完了」をクリックします。

「積取Matrix」で「EX-TREND武蔵」用のデータを出力する

「積取Matrix」で「EX-TREND武蔵」用のTOMファイル(*.tom)を出力します。

操作の詳細については「積取Matrix」の解説を参照してください。ここではコマンドの位置のみ解説します。



- 1 「積取Matrix」の設計書一覧を表示して、[ファイル]－[施工管理ファイル出力]－[EX-TREND武蔵 (自動) ファイル出力]をクリックします。「積取Matrix 連携ツール」で設定されたフォルダーに自動で出力されます。出力先を手動で指定したい場合は、[ファイル]－[施工管理ファイル出力]－[EX-TREND武蔵 (指定) ファイル出力]をクリックしてください。

その他



はじめてみよう!インデックスの
その他の補足を確認しましょう。

1 入力専用ライセンス(04)



04 入力専用ライセンスの制限事項・解除方法

入力専用ライセンスでは各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷や出力などが行えません。

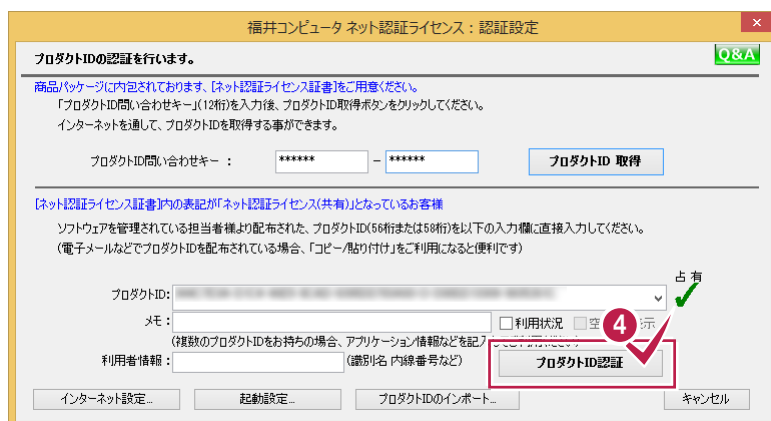
以下の手順で入力ライセンスを「停止」または「終了」した後、ネット認証ライセンスの認証やUSBプロテクトの装着を行って、プログラムを再起動する必要があります。

- 1 まず、データを保存して、プログラムを終了します。

入力専用ライセンス
を「停止」または
「終了」します。



- 3 プログラムを再起動します。



- 5 データを開き、成果物の印刷や出力を行います。

- 1 まず、データを保存して、プログラムを終了します。

- 2 デスクトップの左下の[入力専用ライセンス]のアイコンでマウスの右ボタンを押して、ポップアップメニューの[入力専用ライセンスの停止]または[入力専用ライセンスの終了]をクリックします。

- 3 プログラムを再起動します。

- 4 [プロダクトID認証]をクリックします。

「USB」プロテクトをお使いの方は



「SNS-Wプロテクト」の場合はUSBプロテクトを装着してから、プログラムを再起動してください。「SNS-LAN-Xプロテクト」の場合は、そのままプログラムを再起動してください。

- 5 データを開き、成果物の印刷や出力を行います。